速報ゴーヘッズ

機動力野球 初見参!!

京浜サテライトカップ初戦飾る

―下位打線が巧打連発―

四月八日、雷鳴響く大黒埠頭野球場（横浜市）で、湾岸サムライズとの京浜サテライトカップ第1戦が行われた。試合は、まさに稲妻のごとく、今期好調のゴーヘッズが、初回6点を挙げる速攻で、大勢を決し、そのまま逃げ切った。

初回、立ち上がりに苦しむサムライズ先発尾上から、先頭の宮内が四球を選ぶと、すかさず二盗・三盗を決め、無死三塁の好機をつくった。

ここで、一番 藤井は、詰まりながらも、左翼前へ落とし、宮内を迎え入れ、あっさり先制した。

これで止まらないのが今のゴーヘッズ。相手投手の乱調に付け込み、四球で出塁した走者を深沢、山林がヒットで迎え入れるなど、打者十三人を繰り出す猛攻を見せ、大量6点を挙げた。

しかし、その猛攻が仇に。

初回の猛攻で、塁上を2度も駆け回ったベテラン勢は、既に『真っ白な灰』と化し、残塁を重ねる淡白な攻撃を繰り返す。

相手に流れが傾きそうな展開を、主戦 志村が、しっかりと引き止めた。六回に失点するまで、殆ど、走者を許さない、危なげない投球を見せた。

相手に付け入る隙を見せないゴーヘッズは、最終回にも、宮内の二塁打を皮切りに、ダメ押し点を挙げる万全の試合運びで、公式戦の大事な初戦を快勝した。

初回の好機に左中間を破る二塁打を放つ山林〔上〕と、最終回にダメ押し点のきっかけとなる二塁打の宮内〔下〕

ゴー	6	1	0	0	0	1	8	
サム	0	0	0	0	0	1	1	2

《2塁打》 山林、宮内

打順		打	安	点	四	振
1	宮内	3	2	3	2	0
2	藤井	3	1	1	2	0
3	おすぎ	3	1	1	2	0
4	志村	3	0	0	2	0
5	深沢	4	1	0	1	1
6	山林	3	2	2	1	0
7	大川	3	0	0	1	0
8	中富	4	2	0	1	1
9	中島	1	1	0	2	0
（	河合 ）	1	0	0	0	1

	投球回数	失点	自責
志村	7	2	1

投球の安定感に磨きがかかる志村
下は、好リードが光る おすぎ

【振り逃げ・・・】～試合後記～

見事な機動力でダイヤモンドを駆け巡り、試合には、快勝したゴーヘッズの面々であったが、帰りの足取りは、まるで産まれたての仔馬・・・

仕事の合間にホッとひと息
ユニマット